

平成26年度 地球温暖化対策に関する市民実態調査結果

1 目的

高松市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「高松市地球温暖化対策実行計画」を平成23年2月に策定し、CO₂など温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。

このアンケートは市民の皆様の地球温暖化対策に対する意識や取組状況を把握するとともに、今後の本市の地球温暖化対策に係る施策等に反映させることを目的に、高松市民満足度調査と併せて実施したものです。

2 調査の概要

(1) 調査対象者

平成27年1月1日現在の住民基本台帳から満20歳以上の市民2,000人を、中学校区ごとの登録人口で按分し、校区ごとに無作為抽出

(2) 調査方法

市民満足度調査と併せて、郵送により配布・回収

(3) 調査期間

平成27年1月16日(金)～1月31日(土)

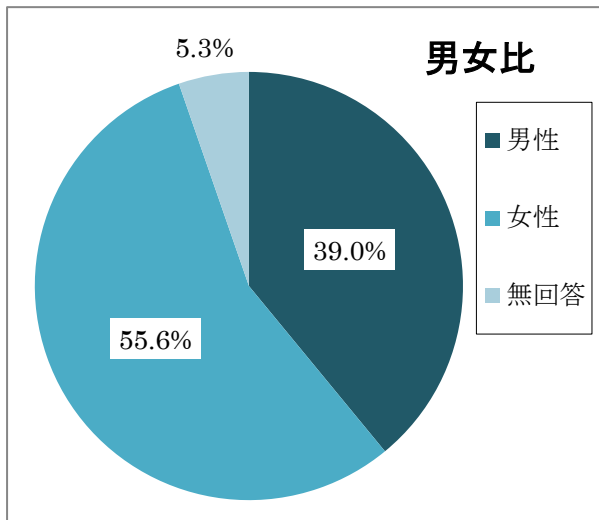
(4) 回収率

36.5% (回収数 730枚)

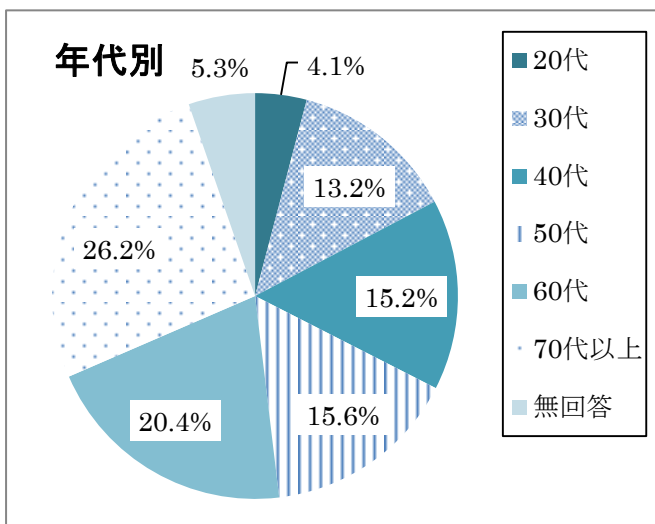
3 調査結果の概要

※端数処理の関係で割合（％）の合計が100%にならない場合があります。

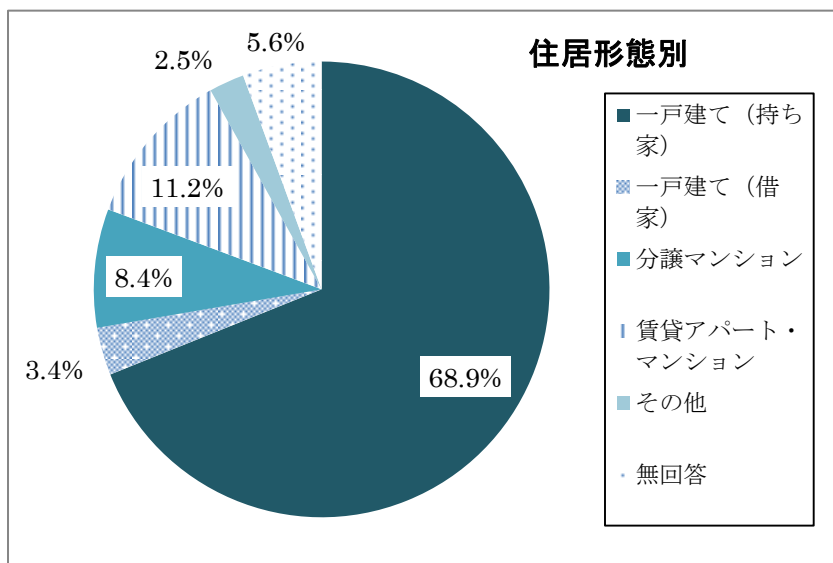
○アンケート回答者について



アンケート回答者のうち男性が39.0%、女性が55.6%となっています。



アンケート回答者のうち70代以上が26.2%と最も多く、次いで60代が20.4%となっています。

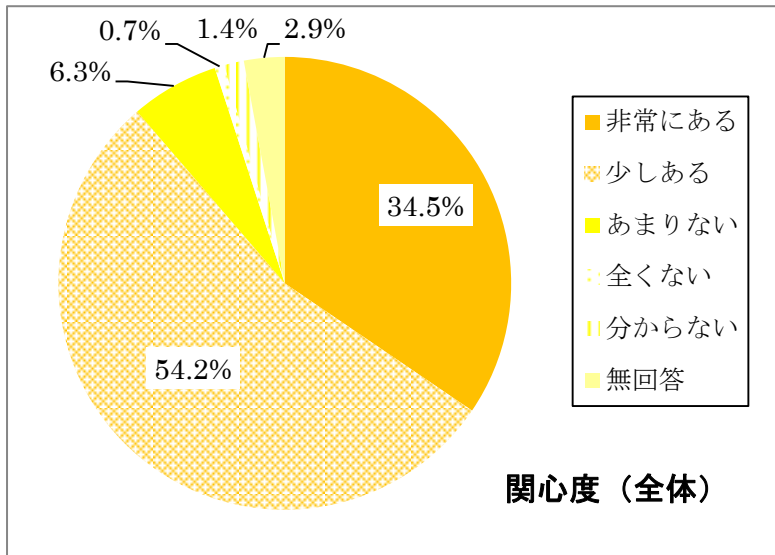


アンケート回答者のうち「一戸建て（持ち家）」が68.9%と最も多く、次いで、「賃貸アパート・マンション」が11.2%となっています。

○地球温暖化問題への関心度について

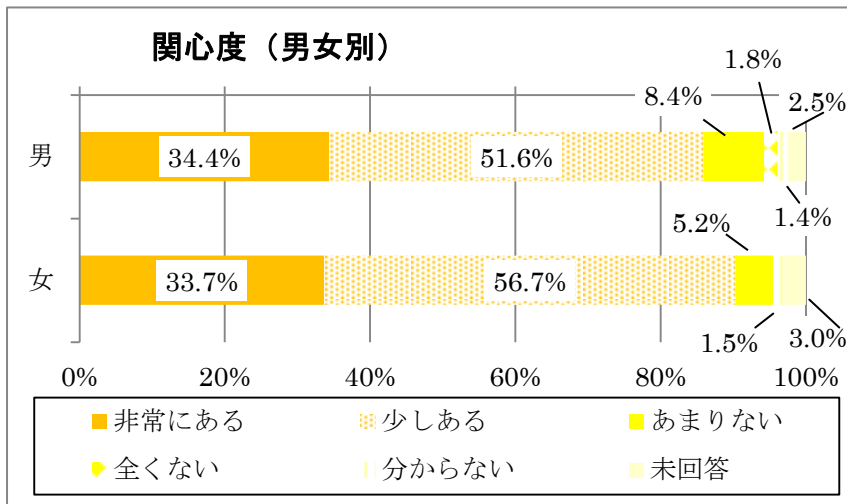
問1 地球温暖化問題に関心がありますか。あなたの考えに最も近いものを選んで、番号に○を付けてください。

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1 非常に関心がある | 2 少し関心がある | 3 あまり関心がない |
| 4 全く関心がない | 5 分からない | |

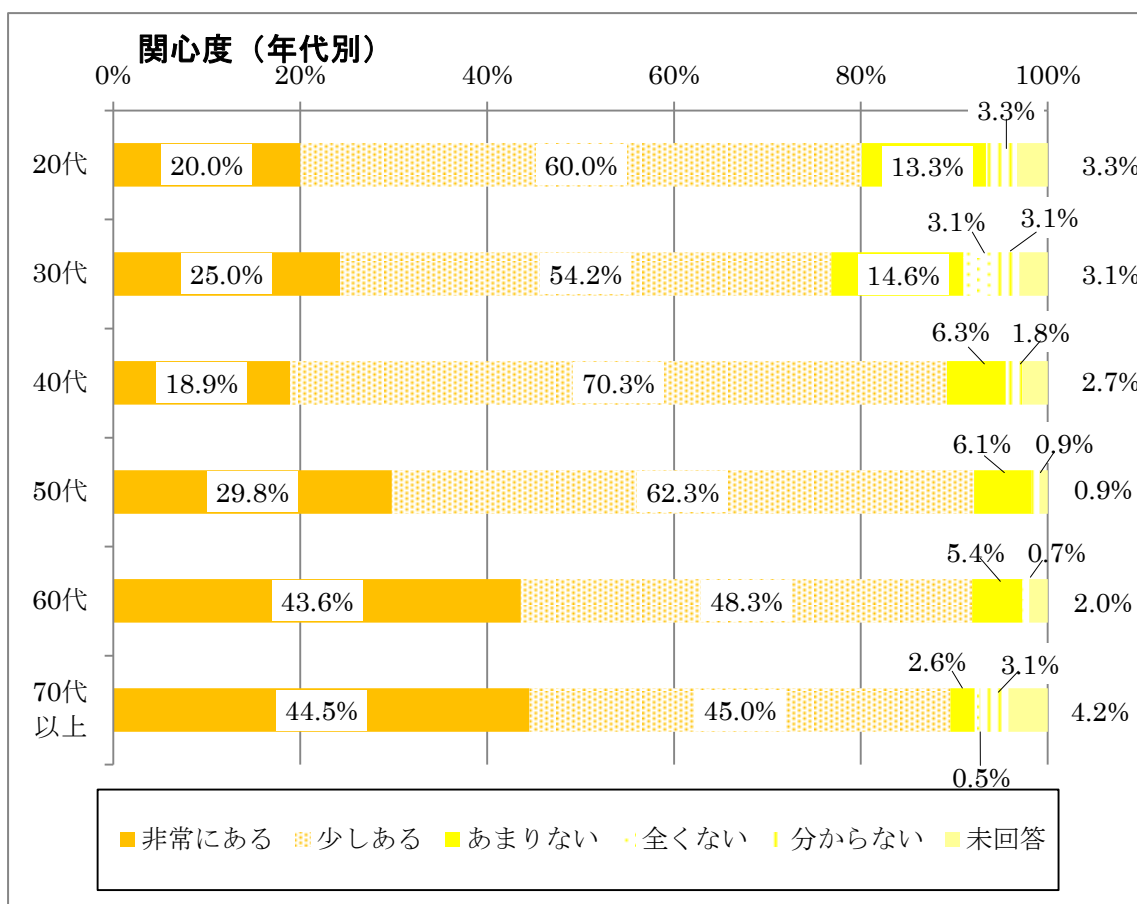


地球温暖化に関心がある人が約9割

「少しある」が54.2%、次いで「非常にある」が34.5%となっており、全体としては、88.7%の人が地球温暖化に関心があるという結果になりました。



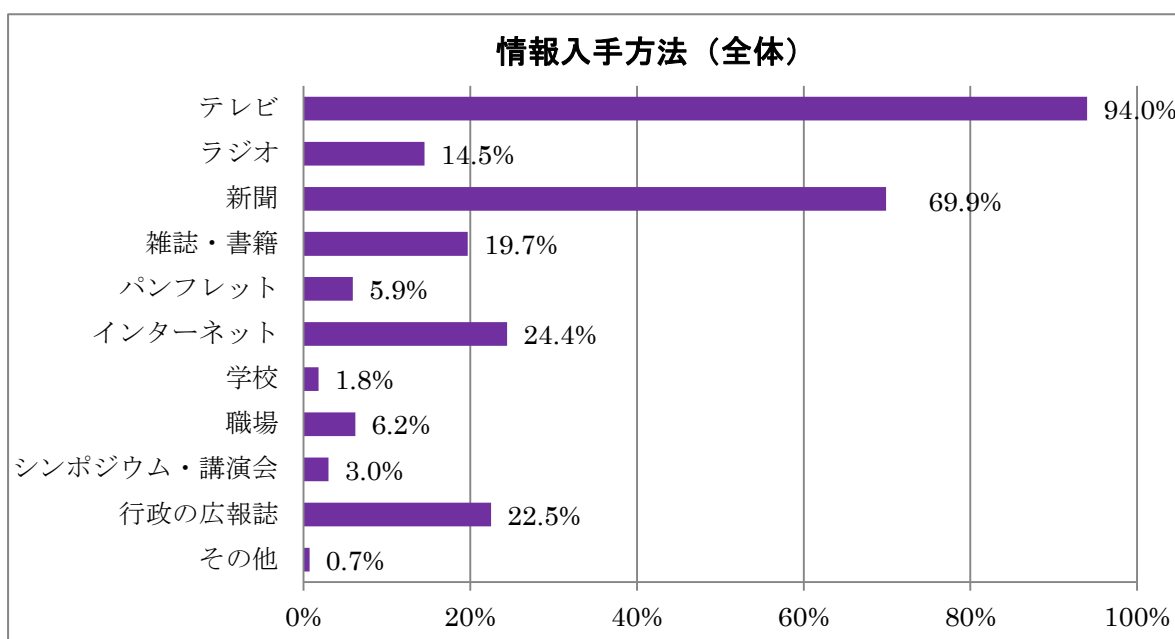
男女別にみると「非常にある」と「少しある」を合わせた割合は、女性が少し上回ったものの大きな差は見られませんでした。



年代別にみると、年代が上がるにつれ関心が大きくなり、「非常にある」の割合が増える傾向にあるという結果になりました。

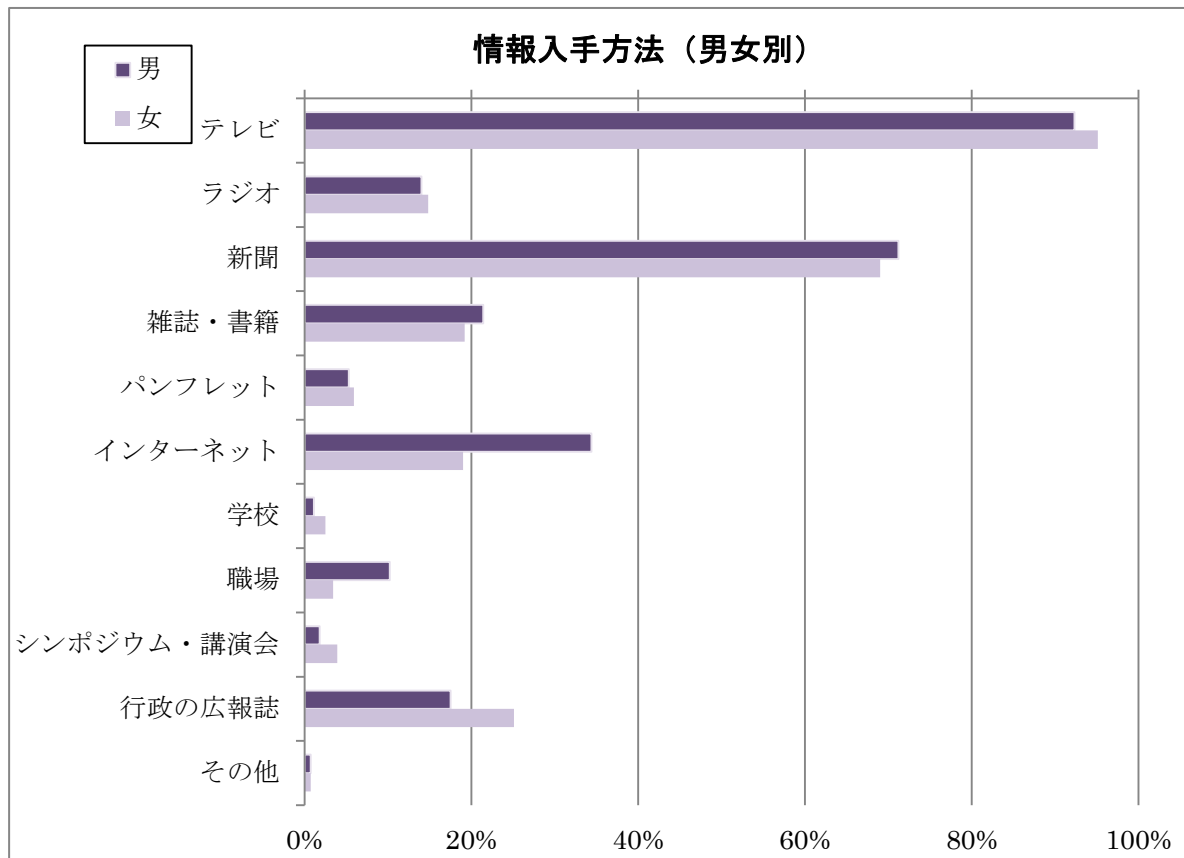
問2 あなたは、地球温暖化に関する情報を、普段、どこから得ていますか。あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ | 3 新聞 |
| 4 雑誌・書籍 | 5 パンフレット | 6 インターネット |
| 7 学校 | 8 職場 | 9 シンポジウム・講演会 |
| 10 行政の広報誌 | 11 その他() | |



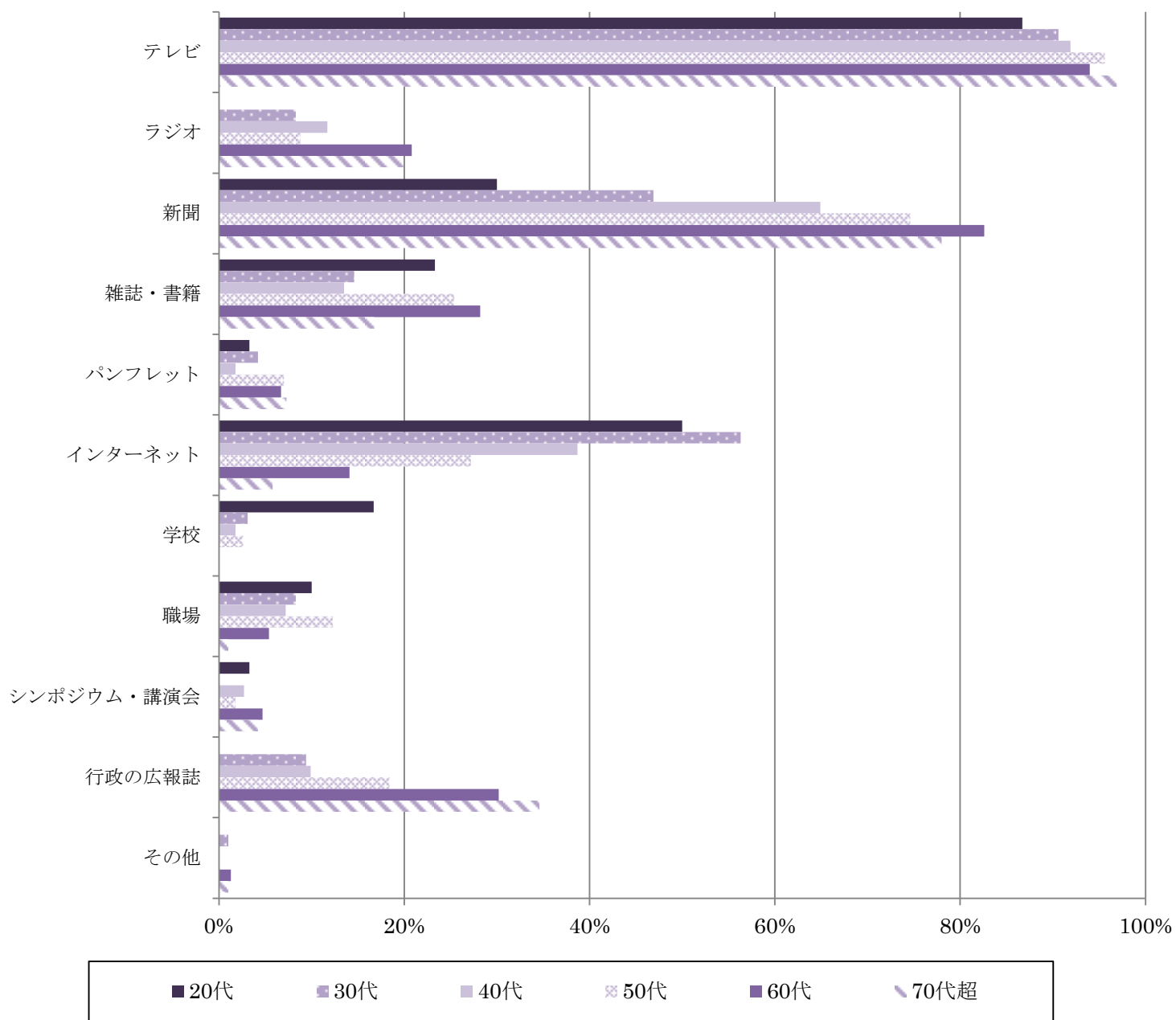
主な情報入手方法はテレビと新聞

情報入手方法としては、「テレビ」が94%、次いで「新聞」が69.9%となりました。ほかに割合が高かったものとして、「インターネット」が24.4%、「行政の広報誌」が22.5%という結果になりました。



男女別にみると、「行政の広報誌」は女性の割合が高い一方、「インターネット」は男性の割合が高くなっています。

情報入手方法（年代別）



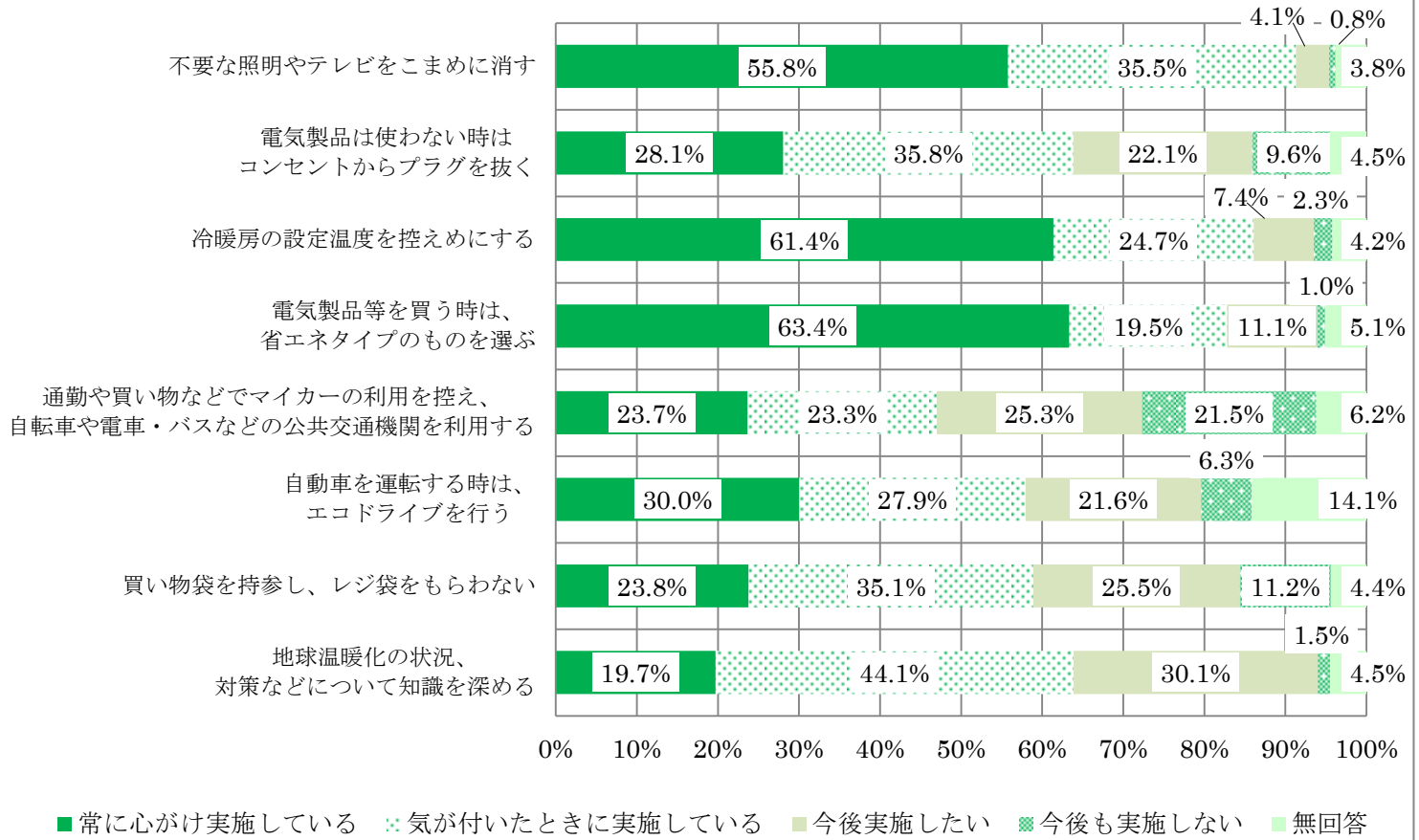
年代別にみると、「ラジオ」・「新聞」・「行政の広報誌」は年代が上がるにつれ情報入手手段として増加傾向にある一方、「インターネット」については、逆に減少傾向にあるという結果になりました。

○地球温暖化防止に向けた取組について

問3 あなたが日頃、地球温暖化防止のために実施していることはありますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

項目	現在している		現在していない	
	実施している 常に心がけ	実施している 気が付いた時に	したい 今後実施	しない 今後実施
(記入例 →)	1	2	3	4
1 不要な照明やテレビをこまめに消す	1	2	3	4
2 電気製品は使わない時はコンセントからプラグを抜く	1	2	3	4
3 冷暖房の設定温度を控えめにする	1	2	3	4
4 電気製品等を買う時は、省エネタイプのものを選ぶ	1	2	3	4
5 通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する	1	2	3	4
6 自動車を運転する時は、エコドライブを行う	1	2	3	4
7 買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない	1	2	3	4
8 地球温暖化の状況、対策などについて知識を深める	1	2	3	4

日頃の取組（全体）

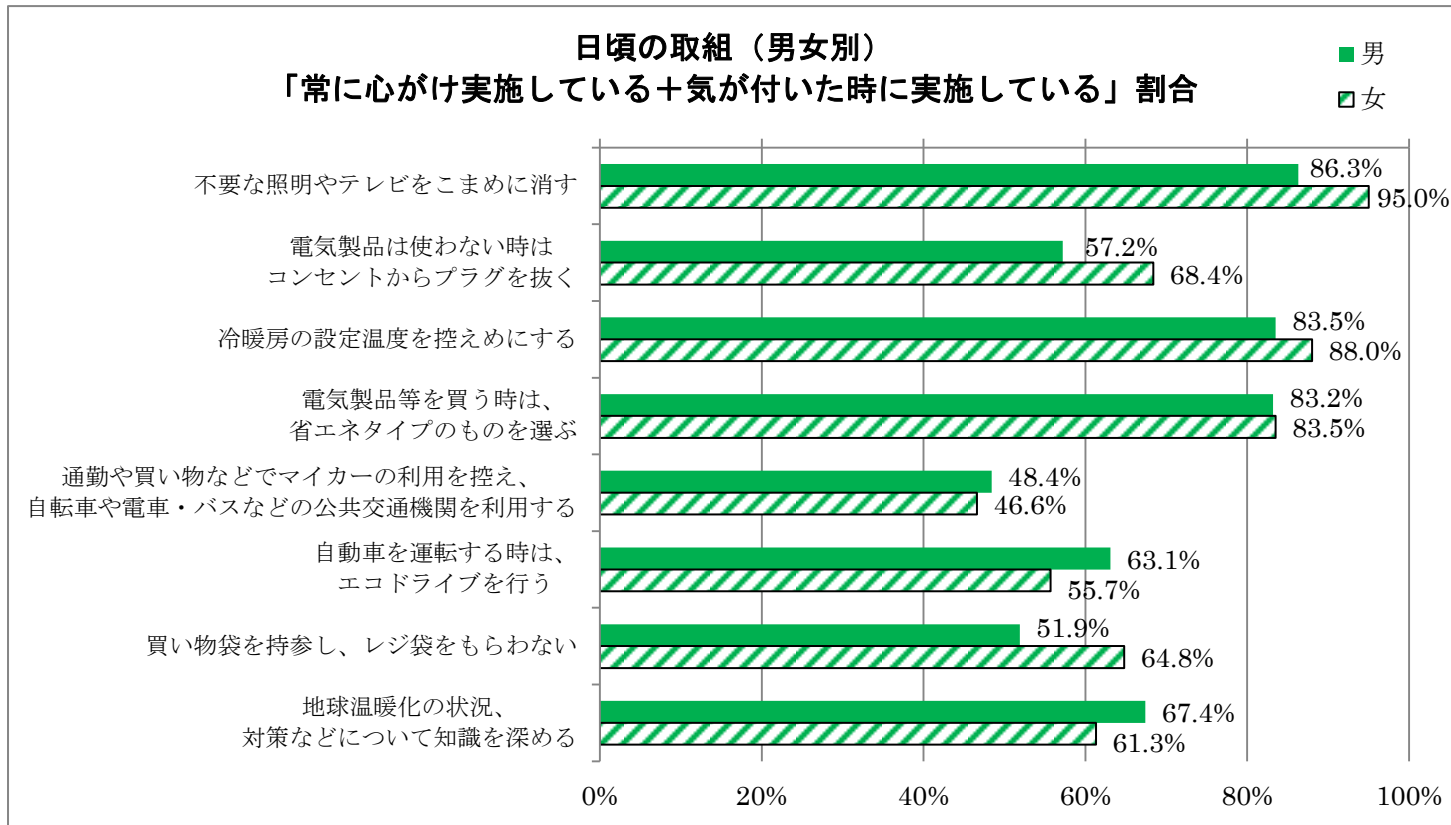


日頃よく実施している取組は、
「不要な照明やテレビをこまめに消す」
「冷暖房の設定温度を控えめにする」
「電気製品等を買う時は、省エネタイプのもを選ぶ」

「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」を合わせた割合が8割を超えているものに「不要な照明やテレビをこまめに消す」（91.3%）、「冷暖房の設定温度を控えめにする」（86.1%）、「電気製品等を買う時は、省エネタイプのもを選ぶ」（82.9%）の3項目が挙げられます。

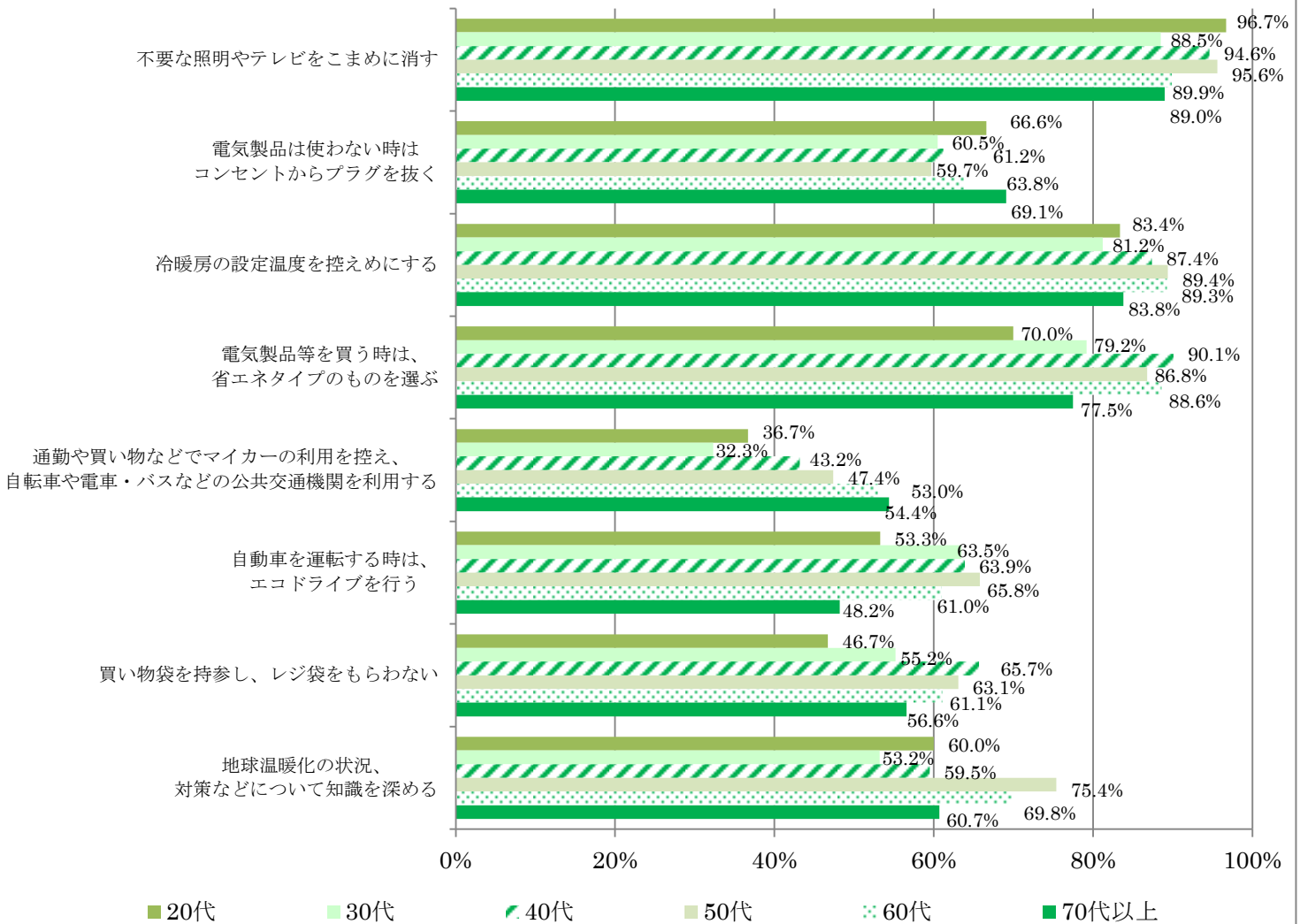
一方、「今後も実施しない」の割合が高いものとして、「通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する」（21.5%）次いで「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」（11.2%）が挙げられます。

日頃の取組（男女別）
「常に心がけ実施している＋気が付いた時に実施している」割合



「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」を合わせた割合を男女別にみると、「不要な照明やテレビをこまめに消す」、「電気製品は使わない時はコンセントからプラグを抜く」、「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」の3項目で女性の割合が男性を大きく上回る一方、「自動車を運転する時は、エコドライブを行う」、「地球温暖化の状況、対策などについて知識を深める」の2項目では男性の割合が女性に比べ比較的高くなっています。

日頃の取組（年代別）
「常に心がけ実施している＋気が付いた時に実施している」割合



「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」を合わせた割合を年代別にみると、「電気製品等を買う時は、省エネタイプのものを選ぶ」、「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」の2項目は40～60代の年代で割合が高くなっています。

「通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する」の項目は年代が上がるにつれ、割合も高くなっています。

「地球温暖化の状況、対策などについて知識を深める」の項目では、50・60代の年代で割合が高くなっています。

問4 あなたのお宅では、地球温暖化防止につながる省エネルギーや自然エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

項 目 (記入例 →)		している	既に導入	予定	今後導入	たい	導入してみ	はない	導入の予定	理由(※1)
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4	5	6	7	8	
2	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	1	2	3	4	5	6	7	8	
3	高効率給湯器(※2)	1	2	3	4	5	6	7	8	
4	LED照明(一部の照明への導入を含む)	1	2	3	4	5	6	7	8	
5	次世代自動車(※3)	1	2	3	4	5	6	7	8	

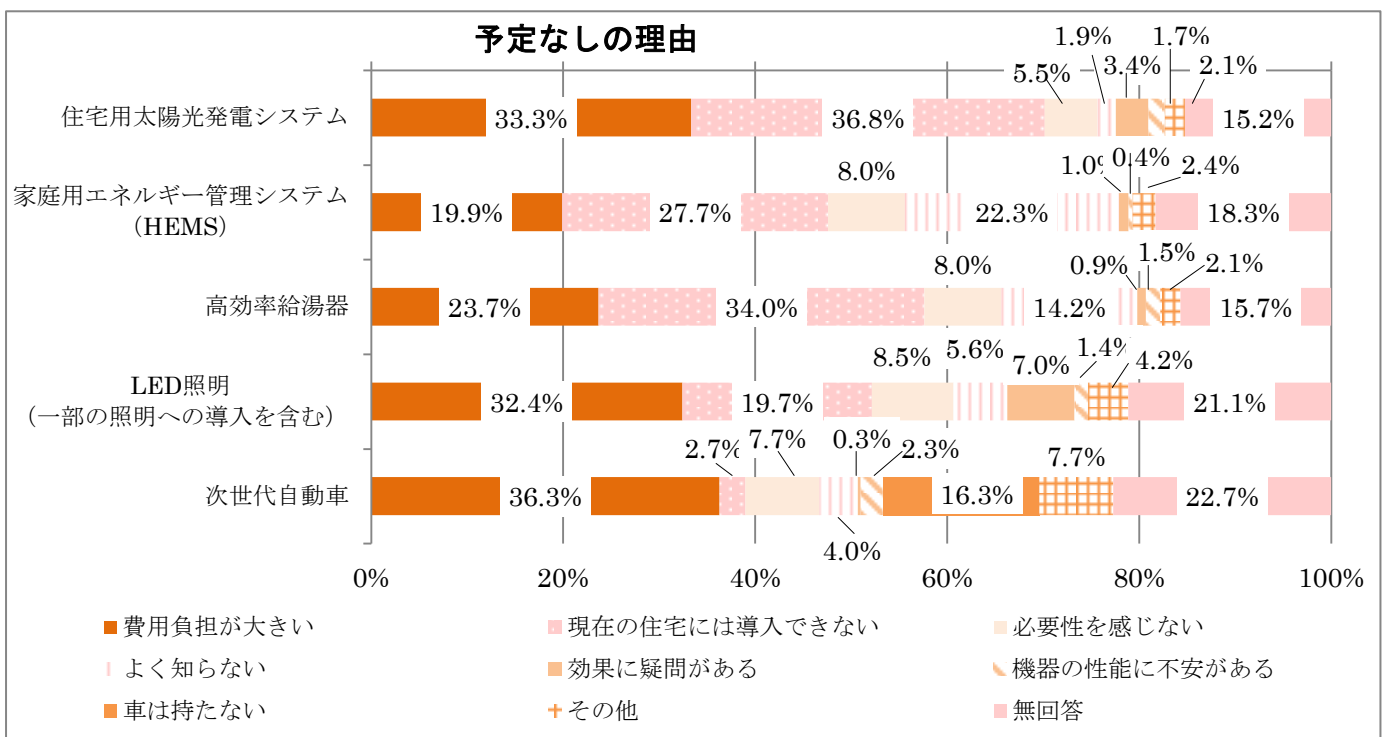
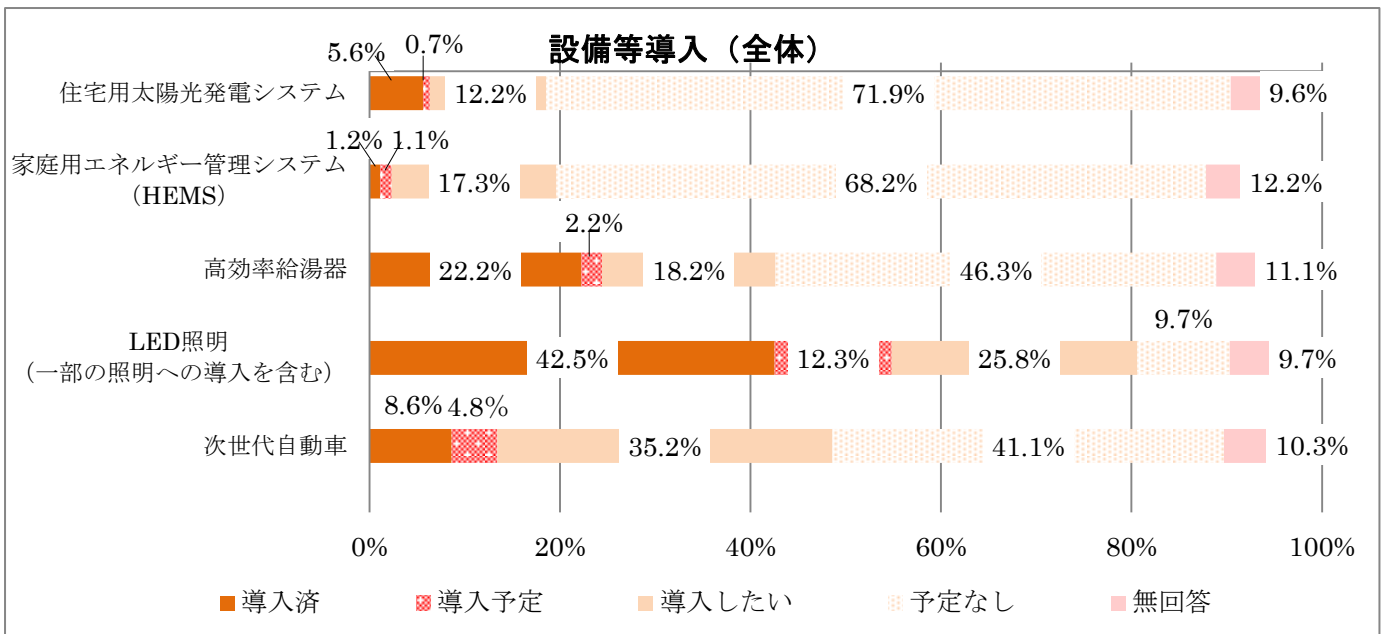
※1 「導入の予定はない」を選択した場合、その理由を下記(A~H)から1つ選び、記号を記入してください。

A 費用負担が大きい B 現在の住宅には導入できない C 必要性を感じない D よく知らない

E 効果に疑問がある F 機器の性能に不安がある G 車は持たない H その他

※2 高効率給湯器とは、CO2 冷媒ヒートポンプ(通称エコキュート)、ガスエンジン給湯器(通称エコウィル)、潜熱回収型給湯器(通称エコジョーズ、エコフィール)、家庭用燃料電池(通称エネファーム)を指します。

※3 次世代自動車とは、電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグイン・ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車、燃料電池車を指します。



LED照明は、約4割が導入済

「導入済」の割合が高いものは、「LED照明」が42.5%、次いで「高効率給湯器」が22.2%という結果になりました。

一方、「住宅用太陽光発電システム」、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」、「次世代自動車」については、「導入済」が1割に満たない結果となりました。また、これらを導入しない理由としては「費用負担が大きい」ことが3項目すべてで主な理由として挙げられ、「住宅用太陽光発電システム」、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」の2項目では「現在の住宅には導入できない」、「次世代自動車」の項目では「車は持たない」ということも主な理由に挙げられました。また、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」は「よく知らない」と回答する人も多くいました。

○地球温暖化対策についてのご意見

※質問趣旨と異なる回答は除外しています。

◆20代

(男性)

- ・本当に人間の社会生活から発生する温室効果ガスによって地球温暖化が進んでいるのか、実際よく分かっていないと思います。省エネルギーは必要と考えますが、それが地球温暖化防止になるとは考えていません。
- ・地球温暖化対策として実施している訳ではなく、単なる節約で実施している。温暖化については諸説あり、今ひとつ何が正解なのか不明。
- ・問4のような設備を購入するにあたって、市独自の補助金があると助かります。欲しいのはやまやまなのですが、どれも高価なのでなかなか購入できないのが現状です。
- ・必要以上のことはしない。余らないように少し足りない充実感を考える。

(女性)

- ・無駄に使っている電気が多いと思う。
- ・地球温暖化対策という名目は非科学的だと感じるが、省エネ・エネルギー効率の改善・無理のないエネルギー入手を行っていくことはとても有意義だと思う。
- ・よく分からない事ばかりなので、もう少し勉強したいです。
- ・高松市の場合、通勤手段がどうしても車になってしまうので、温暖化対策をすすめるために公共交通機関の整備が必要だと思う。また、環境に良いのは分かっているけど費用負担が大きくて導入出来ない人も多いと思うので、補助が必要だと思う。再生可能エネルギーとして太陽光だけでなく太陽熱利用システムの導入もすすめてほしい。

◆30代

(男性)

- ・原発再稼働、ガソリン車を廃止し燃料電池車に移行。
- ・省エネで月々の固定費が安くなるのは助かるが、本当に温暖化しているのかが疑問である
- ・エコドライブを心掛けているが、後ろの車に早く走れ！！とあおられる(高齢者・初心者)
- ・通勤でバスや電車は、バスもでてないし、電車もないので会社までは車でないといけない。太陽光も費用も高いし、屋根にとりつけできなければできない。できることを今できる範囲でするしかないと思う。
- ・一次産業に力を入れて、もっとCO₂を削減できる環境を作ってみてはどうでしょうか？今でも減反政策を作っているのか、田んぼが減っているのはさびしいです。
- ・CO₂の削減の為、ビニールゴミの減少を強化する。国の補助などで次世代カー(ミライ)

等の支援強化で削減率UPになるかと思います。

- ・CO2よりメタンガスをどうにかした方が温暖化対策になると思う。
- ・バスやJRなど公共交通機関が不便なのでもっと利用しやすい様にしてほしい。

(女性)

- ・夏に私の職場ではエアコンを一切つけません(家庭でも)。それは「我慢」ではなく、冬から体を調整することで夏を超えられる体調管理をしておくことを心がけているからです。皆が実践すればいいのにと考えています。
- ・自分が子供の頃に比べて温度が高い感じはしているので大人になった今、私にできる事(ゴミの分別をきちんとする、電気の節約など)をがんばりたいです。子供にも言い聞かせています。
- ・個人が意識することはもちろん大切だが、マイカーを使うのを減らせるよう交通機関を整備したり、太陽光発電に補助金を出したりといった自治体の政策は必要だと思う。
- ・次世代設備の導入はしたいが、費用が高額になるのではと心配。
- ・各家庭で少しずつ気をつけていきたい。
- ・トラックなどの大型車両もエコ化すべきだと思う。タクシーのアイドリングがひどい。
- ・もっと速い公共の乗り物を作って欲しい。自転車置き場をきれいにして欲しい。
- ・5年後を目標に日本全ての乗用車をエコカーにする。その他の車(外車、古車)の税金は3倍にする。商業車は一部免税。

10年以上経過した電化製品の使用する場合の点検と許可書の義務化。

- ・1人1人のできることは少ないが、毎日1人1人の積み重ねが大切だと思うので、私はこれからもできることを続けていきたい。

◆40代

(男性)

- ・費用負担が大きいと導入は難しい。買替時の検討になるが、導入するメリットがあれば前向きになれる。補助金、減税、費用対効果等。ランニングコストが下がれば検討する。
- ・京都議定書に定められた温室効果ガスの削減目標は各国に温度差があり、またその目標をクリアする為に努力しているとは思わない。一番大事なのは中国やアメリカ等の経済大国が排出する量は各国の何倍も排出しており、その2国がそっぽを向いていることを日本が交渉する必要がある。
- ・いつまでにどの程度のことを行うのか、そのための手段を具体的にスケジュールとして示す必要がある。
- ・近年の夏の暑さは異常に思われます。子供達の為にも、地球温暖化対策をしっかりと考えていきたいと思えます。
- ・原発を完全に廃止する事が大事です。地球温暖化の前に原発廃止が先ですよ。

- ・地球温暖化を止めるのであれば、コンビニなど夜間の店舗の営業を止めるなど、電力を使わないようにすべきです。
- ・1人1人が注意深く生活していく事が大事だ。
- ・地球規模の温暖化はよく伝えられるが、いまいち現実性が分からない。もっと身近な事でアピールしてみてもいい。
- ・公共交通機関を利用しようと言いながら、バス路線の減便や廃止など、使いたくても使えない状況なので、市としてもっと補助すべき。田舎にこそ、バスなどをしっかり充実させるべき。
- ・エコに関心があり、生活に余裕がある家は積極的に導入していけるが、生活に余裕のない家では優先度が低く、導入することができない。経済的にできる家、できない家との間に格差が生じ、社会の二層化が進むと思う。
- ・高松市は特に自動車社会で自動車がなければ不便な市だと思います。是非、市営の交通機関の整備を進めて下さい。自動車移動が少なくなれば、温暖化、死亡事故の減少に繋がり効果がすぐに現れると思います。
- ・太陽光発電と太陽熱発電（エネルギー利用）を同時に研究する人と場を整備すれば化石燃料を燃やさなくても電気が得られるのではないかな？

(女性)

- ・琴電の各駅周辺に利用しやすい駐車場があれば、マイカーではなくもっと電車で利用したいなあと思います。
- ・地球温暖化の危険性は言われているけれども、まだあまり実感として危機感を持っていない。市をあげて対策していただいて、自分達も何かできる事から実行に移していきたい。
- ・温暖化対策についてですが、導入してはみたいと思うのですが、やはり、費用の負担が大きすぎ、そこまで考えられないのが現状です。
- ・家族で出来ることは行っています。親子が学べるイベントがあれば参加していき、家庭の中でも職場でもより一層意識を高めたいと思います。問4は、やはり現実、お金の問題となると難しいです。
- ・市、地域、学校などから、どんどん取り入れられるものは取り入れた方がいいと思います。行政や子供たちが動かなければ、大人、一般人はなかなか動かないと思います。
- ・いまだに目に見えるほど黒い排気ガスを出して走行している車（ダンプなど）をたくさん見かけます。クリーンな車が増えたせいか、とても体に悪いと思っています。でも規制できないのですよね。
- ・日頃からの心掛けが大事だと思いますが、多くの人達と協力しなければ何も変わらない難しい問題だと思います。
- ・皆で取り組むために、何かスタンプでも、費用がかからない、達成感を味わえる形式を取

り入れて、「面白さ」を味わいながらエコできたらいいな。

- ・ CO2 が地球温暖化に影響しているかどうか、はっきり分からないため、自分の考えで行動します。
- ・ 個人個人の意識改革とともに、社会全体の仕組みを変えるようにして、効果が目に見えるようにしてもらいたい。
- ・ 個々の対策も必要だが、企業の対策も急ぐべきではないかと思う。
- ・ 近年の異常な暑さに、とても危機感を持っています。
- ・ 費用負担が大きく、生活するのに一杯でそこまでお金を回す余裕がない。
- ・ 先進国と発展途上国、都市部と地方では状況が違い、意見も異なるでしょうから目標値とといった形にならざるおえない部分が多く、難しい問題だなあと常日頃思います。このままだと大変な事になると実感できるような体験型のイベントはどうでしょうか。異常気象等体感できる事象は身の回りに既に起こってるんですが…。

◆ 50代

(男性)

- ・ 現在は無理だが、買いかえ等のタイミングの時に設備を導入してみたいのでより良い製品開発を関係各社にお願いしたい。
- ・ 50年、100年先が考えられない。
- ・ 太陽光発電と蓄電をもっと推進すべきである。
空き地や休耕地は芝生等の緑化を義務づける条例をつくるとよい。
一戸建ての家も面積に応じて緑化を義務づけるとよい。
- ・ 日本単体ではなく、それこそ全世界的に対策を講じなくては大変なことになると思う。形式的な世界会議では打開策は生まれないと思う。
- ・ 具体的な個人で取り組める指針を示したら、行動する人が出てくると思います。
- ・ 現状の分析が重要とっており、方向性を誤らないことが求められています。

(女性)

- ・ 問4での設置も何度も考えますが、設置金額等が捻出しにくいです。もっと購入しやすい条件があれば助かります。
- ・ 個人（家庭）に対しての補助金は続けて欲しい。
- ・ 先進諸国が対策を講じても途上国のおびただしい環境破壊でどうしようもない。そちらを考えるべき。
- ・ 暮らしの中の小さな省エネは大切であるが、太平洋の水をバケツにくんで大西洋へ棄てに行くような徒労感がある。化石燃料の減産が行わなければ地球規模では結局はどこかで排出されている。

- ・地球温暖化対策については、できることから導入はしているが、やはり費用負担の面からできないことがあり、もう少し費用補助が大きければと思います。
- ・レジ袋はどの店も全て配布をやめ、要る人は購入するようにしたらどうか。
- ・公共の場でのエアコン設定を考えるべき（少々暑くても寒くても）
火力発電より原子力発電の利用もする方が良いと思う。当然、安全管理はこれまで以上に重要ですが。太陽光発電では雨・くもりや夜間では使用できないので。
- ・個人で国で地球規模で真剣に取り組んでいかないと食い止めることは出来ない状況にきていると思う。
- ・元気な人はこまめに節電も可能ですが、歳をとると絶対に冷暖房が必要になったり、消し忘れ等をのがれられません。高齢者にやさしい家電作り又企業の節電を望みます。
- ・日本のような小さな国土では限られた事しかできないのではないかと思います。世界との協力が必要だと思います。
- ・最近よく見かける街灯の LED 化、エコで良いと思います。二酸化炭素の排出を少しでも減らすため、火力発電、問題の残る原子力発電に頼らないエネルギーの再構築が必須と思います。電力会社もスマートメーター取替などで家庭向けに節電等の意識付けをしていますが、高効率給湯器・次世代自動車は普及が遅いように思います。エコ減税（税金の投入の範囲内）が頼りですね。（太陽電池の電力買取の際の企業の設置の速さには驚くべきものを感じました。利点がないと先に進まないのかもしれない。）
- ・香川県、国などの補助金制度の拡大をお願いします。
- ・個人の取組だけでは効果が少ない。もっと行政の取組が必要ではないかと思う。
- ・太陽熱をもっと利用できるようなになればよい。
- ・新築するときは必ず太陽光発電システム設置を義務づけるとよい。

◆ 60代

（男性）

- ・太陽光発電は効率が悪く廃棄の際に高い費用が発生するなど問題が多い。余剰電力の買取りは他の家庭への負担増となり真に効果があるとは言えない。
- ・当面は原子力発電を活用すべき
- ・高松市地球温暖化対策実行計画がどのような内容のもので、具体的にどのような取組みを行っているのか？ほとんどの市民が知らないのではないか。まずは地球温暖化対策の必要性、緊急性、重要性、実践項目の内容等に関する周知・啓発活動を行うべきである。
- ・地球温暖化に対して理解と怖さを知らないと思う。
- ・国民みんなが考える必要がある。効果が少ない諸行事をやめること（冬の祭りの照明等）必要がない照明を消す。
- ・地球温暖化対策について一般家庭で各項目を実施時の参考削減率及び消費電力量の削減数

字の具体的な例を標記してはどうでしょうか。

- ・住宅用太陽光発電システムにしても、他のエネルギー問題でも、一貫した政策をしてもらいたいですね。
- ・まず、公共施設に太陽光発電システム導入を推進していくべきだと思う。市の車を電気自動車に替えていく。
- ・グローバルな対策がなければ効果を享受できないだろう。アメリカ、中国など大量排出国との連携を望む。
- ・市民全員が興味を持てるよう常時テーマとして取り上げ情報共有できる環境としくみづくりをお願いします。
- ・政策に対して一貫性がない。原発停止⇒温暖化対策
- ・家庭のエネルギーもさることながら、産業のエネルギー消費がはるかに多いので、国として早くエネルギー基本計画を策定する必要がある。その上で地方も検討をすすめていくべきではないか。

(女性)

- ・今の温度ではエアコンにたよらずには生きていけないと思うので、なるべく午前中はつけない、温度も高めに扇風機で補う、無駄には1日中つけない様になっている。
- ・最近の異常気象を考えれば温暖化を少しでも少なくするよう身近なことから努力したいと思います。
- ・無理なく、永く続く方法を行政が提示し、それぞれの年齢、環境の人が選べるようにしてほしい。
- ・新興国、特に中国の石炭使用状況等の取り込みは改善して欲しい。家の外装等ペンキの塗りかえに、夏の日差しを少しでも遮断する塗料を使用するよう、効果の宣伝を進めてはどうか？よかったら使いたい。
- ・少ない年金生活者のため、自分たちのできる範囲で取り組んでいく。
- ・夜のネオン等、縮小したらどうか…
- ・原子力発電を利用すれば、温暖化が少しでも防げると思います。
- ・まずは公務員の通勤には必ず公共交通機関を利用するようにする。市民から見れば簡単なことですが、なかなか実行に移されてません。
- ・24時間営業のコンビニ、スーパー等必要なのか疑問に思う。
- ・高松市内はたくさん電気を使用していると思います。郊外では夜道は暗いです。それでも我慢しています。(学生さん達は自転車で通学しています。冬は5:00頃はまっくらです。)
- ・行政が指導すべき所もあると思うが、まずは各家庭、個人の意識を高め、実践することが重要だと思う。
- ・電源はいつも切っている。

- ・生ごみの減量作戦として、各家庭のごみを減らすことに、もう少し積極的に取り組み、ぼかし材料（EM）などを低価格で提供して欲しい。ごみが減れば防鳥ネットからはみ出さないため、カラス被害対策にもなる。
- ・夏にクーラーを入れる家が多いので、室外機から出る風を涼しく（低く）して外に出すようにできないでしょうか
- ・行政の広報誌などで幅広く情報を提供してもらいたい（特に太陽光、家庭用エネルギーなどについて）
- ・このままだと日本沈没におちかねない。なるべく電気を使わない。

◆70代以上

（男性）

- ・地球温暖化対策の名目での原子力発電に反対。自然エネルギー利用の増大を図るべき。
- ・（2-5の質問に対し）公共交通機関がない
- ・利便・効率の追求からの転換が必要。
- ・世界各国の協力が必要である。
- ・農家では、秋、麦刈り後、田圃で藁を燃やしているのをよく見かけますが、あれは届出しているのでしょうか。
- ・人間、自然環境によって生かされていることを子供の時から教育をすべき。
- ・庭木等剪定したものについて、燃やさないように努める。
- ・中国ほか発展途上国に技術協力を今以上にすべき。
- ・ハイブリッド自動車を購入する際、補助金を出せたらもっと採用する人が増えるのでは。今はガソリン車との価格差が大きい。

（女性）

- ・国内だけでなく、全世界で実施しなければと思います。
- ・若い世代の方には、資源も地球環境にも限りがあることを知ってもらいたい。
- ・太陽光発電など、全国のモデルになるような設備を作ったらよい。企業とコラボする。
- ・2km以内は自動車で行動するのを止める。なるべく自転車、徒歩にすると健康にも良いのでは。
- ・人それぞれが便利な電化生活を控え、みんなで我慢する生活をしたら少しは良くなると思います。そして近い所へは車でなく自転車を利用する事も大事だと思います。
- ・知識をもっと深めなければならぬと思う。具体的に取り組むことを知る機会を広い範囲の人々が持たねばならない。
- ・温暖化対策について、高齢者にとっては現状維持でいかに経費節減するかによって貢献していると思う。新製品の購入はこれからの若い世帯には考える余地があると思うが。

- ・地球の環境が変わりつつあるので、どうしたら良いのかよく分らない。
- ・各自がどれだけ認識しているか、個人の認識の向上しかないと思います。
- ・地球温暖化対策から見ると住宅用太陽光発電システムはとてもいいと思うが、住宅及び費用負担が大きく、この年齢（年金生活者）になると導入はできない。毎月の電気代も負担している。お金持ち優遇ではないかと思う。
- ・一般家庭でも使用できる値段の新製品があれば市民に知らせて欲しい。
- ・一人一人が努力していくべきであると思う。
- ・周囲を見たとき、無関心な人の方が多いように思います。
- ・1人1人が日頃、地球温暖化に注意して生活する様に心がける。
- ・自分に出来ることはやっている。
- ・車とエアコン、でもこれが無いのも今の時代では生きて行けないと思います。車とか、エアコンのため温暖化してる。
- ・（2-5の質問に対し）バスの本数も少なく、乗り換えが必要。
- ・（2-5の質問に対し）年よりなのでマイカーでなければ行けない。